

全ての学習の基盤 ①

言語能力の育成

○ 学習指導要領には、全ての学習の基盤となる資質・能力が記されており、言語能力はその筆頭です。

○ 言語能力には、主に「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表わす力」があります。授業では子どもたちが、これらの力を駆使し、教材等から必要な情報を得て自分の考えをもち、考えたことを伝え合うことで、自己の考えを更に広げたり深めたりする学びを積み重ねることが大切です。



○ 一方、言語能力には「創造的・論理的思考」、「感性・情緒」、「他者とのコミュニケーション」の三つの側面があります。このことを踏まえ、学校の教育活動全般を通して、計画的・系統的な育成を図る必要があります。

○ 言語能力を支えるのは、語彙です。語彙の獲得に最も有効なのは、読書です。朝の10分間読書など、子どもたちが本に親しむ時間の確保を、引き続きお願いします。子どもと本との橋渡し役を担う先生方も、子どもといっしょに本を読み、推薦図書や冊子にまとめるなど、学校を挙げて読書を推奨する機運を高めたものです。

習慣

ラグビー元日本代表ヘッドコーチ エディー・ジョーンズ

人間にとって、習慣ほど安定したものはありません。一旦習慣になると、忘れることはありません。欲求を感じなくても、行うようになります。

出典：「ハードワーク」（講談社）

※ 習慣は第二の天性。家庭と連携しながら、早い時期によい習慣を身に付けさせたいものです。